

平成29年度タイムライン運用とふりかえりについて

旭川水害タイムライン《平成28年度版》

- 【第6回検討会】（平成29年7月19日）
- ・タイムライン運用に向けた顔合わせ
 - ・行動手順の意味や解釈の確認
 - ・運用に向けた留意点の確認

出水期にむけた確認

- 【岡山市WS】（平成29年11月7日）
- ・台風第18号を踏まえた追加・修正
 - ・追加部署の確認

出水期
実際の台風で運用
(4回の台風で運用)

- 【第7回検討会】（平成29年12月4日）
- ・今年度出水の振り返り

出水期を経てタイムラインに関する意見を確認

今回

- 【第8回検討会】（平成30年2月28日）
- ・旭川水害タイムライン《平成29年度版》（案）について
 - ・検討会での主な意見と対応について

旭川水害タイムライン《平成29年度版》（案）

来年度出水期に向けた改善方法の確認

平成30年3月19日

- 【シンポジウム】
- ・講演
 - ・パネルディスカッション

旭川水害タイムライン《平成29年度版》

平成30年度

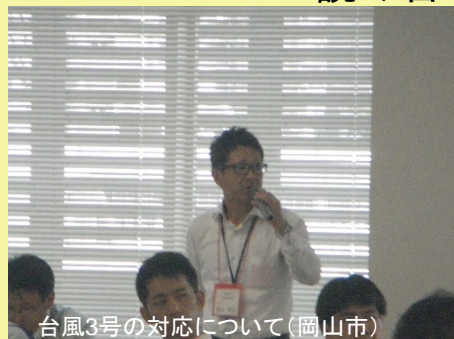
旭川水害タイムライン検討会(第6回)の実施概要

今回のテーマ:「読み合わせ」

日時:平成29年7月19日(水) 13時30分~16時30分
場所:岡山北消防署 3階 防災研修室
全参加機関(27機関)のうち、16機関が参加

- ・今回の検討会では、本格的な台風シーズンを前に、タイムラインの取組みや振り返りの重要性、旭川における策定経緯を振り返った上で、「**行動手順の意味や解釈の確認、運用に向けた留意点の確認**」を目的としたタイムライン《平成28年度版》の読み合わせを行いました。
- ・読み合わせは、第二階層までの行動項目をレベルごとに一気に読み上げました。主要な行動項目については、読み上げの途中で、主体的に行う機関、支援を行う機関が札を上げ、行動主体の確認を行ったり、参加者から改めて出てきた疑問点の抽出を行いました。
- ・タイムラインの特徴のひとつである「顔の見える関係」を重視し、参加機関が円形になることにより、一体感を高め、共通理解を確認することができました。

読み合わせの様子



話題提供



- ・タイムラインの活用では習熟と改善の繰り返しが重要。
- ・試行運用では、連絡調整会議の実施やメーリングリストによる情報共有により、習熟度を高める。
- ・振り返りでは、客観的で合理的なプロセスの評価・検証をとおして改善していく。



- ・平成28年1月の発足から5回の検討会を経て平成29年3月にタイムラインの完成式を実施。
- ・内水を考慮した想定災害シナリオを基に446項目の行動項目を抽出し、多機関連携型のタイムラインを作成。

講評



- ・担当者が変わってもスムーズに行くように試行運用と訓練を継続すべき。
- ・雨の降り方が激しくなっている。九州北部豪雨でも前日に特別警報がでることはわかっていなかった。
→台風3号のように規模が小さい場合でも油断せずにタイムラインの対応していくことで、大規模水害にも備えることができる。

岡山市ワークショップの実施概要

今回のテーマ:

「台風18号の振り返りを行い、タイムラインの改善を図る」

日時:平成29年11月7日(火) 13時30分～16時00分

場所:岡山市役所

タイムラインに係る17部署が参加

- ・岡山市ワークショップでは、台風18号の振り返りを行い、タイムライン実運用の経験を踏まえた防災行動の追加、削除、修正や、市内部関連部署との意見交換や内容の確認を行いました。
- ・ワーキングでは、住民避難・地域支援、社会基盤、意思決定の3グループに分かれ、タイムラインに記載された防災行動について台風18号での実施有無や分析を行い、タイムラインを修正する必要があるかどうか確認を行いました。
- ・その後、全体でタイムラインの修正箇所の発表のうえ、各グループで出た意見について齟齬がある部分については全体調整を行ないました。

岡山市ワークショップの様子



住民避難・地域支援



社会基盤



意思決定

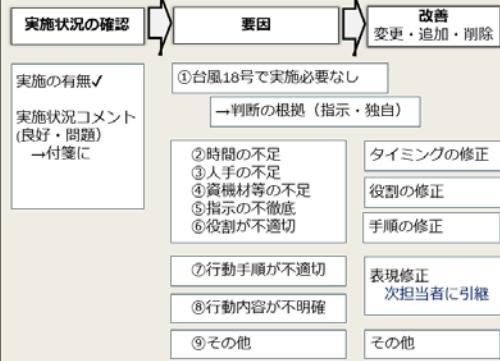


発表・意見交換

振り返りの方法

1. 実施状況の確認:タイムラインの防災行動について、実施の有無を確認する
2. 要因分析:実施していない防災行動について、その要因の確認を行う。
(要因の種類:①台風18号で実施必要なし、②時間の不足、③人手の不足、④資機材等の不足、⑤指示の不徹底、⑥役割が不適切、⑦行動手順が不適切、⑧行動内容が不明確、⑨その他)
3. 改善(変更・追加・削除):タイミングや役割、手順、表現等の修正を行う。

ふりかえりの方法



振り返り結果

旭川水害タイムライン検討会(第7回)の実施概要

今回のテーマ： 「今年度のタイムライン運用について振り返り」

日時：平成29年12月4日(月) 13時30分～16時00分
場所：岡山市 北消防署
全参加機関(27機関)のうち、21機関が参加

- 今回の検討会では、「タイムラインを継続的に活用すること」を目的として、今年度の台風シーズンにおける各機関のタイムラインの運用状況や防災対応について振り返りました。
- 参加者は機関ごとに今年度の出水対応、タイムラインの効果と課題を発表しました。
- 旭川水害タイムライン《平成28年度版》の課題について議論し、タイムラインを継続的に活用するための改善点として整理しました。

振り返りの様子



今年度の出水対応について発表



タイムラインに関する課題の整理



顔の見える関係を重視した円形配置



活発な意見交換

話題提供



岡山地方気象台

- 今年の台風は、接近数が少ないながら、上陸数が多かった。
- 台風第5号は、発生から消滅まで19日間で長寿台風第2位を記録した。
- 台風第18号は、短い期間で多くの雨が降り、台風第21号は、丸2日間雨が降り続いた。



岡山河川事務所

- 台風第18号では水防団待機水位を超過、吉井川で氾濫注意水位を超過した。
- 台風第18号ではリエゾンの派遣や排水ポンプ車の出動要請等を行った。



岡山市危機管理室

- 台風第3号、第5号、第18号、第21号の4つの台風でタイムラインの運用を行った。
- 台風第21号では、メーリングリストでタイムラインの解除についても連絡した。

講評



アドバイザー 前野教授

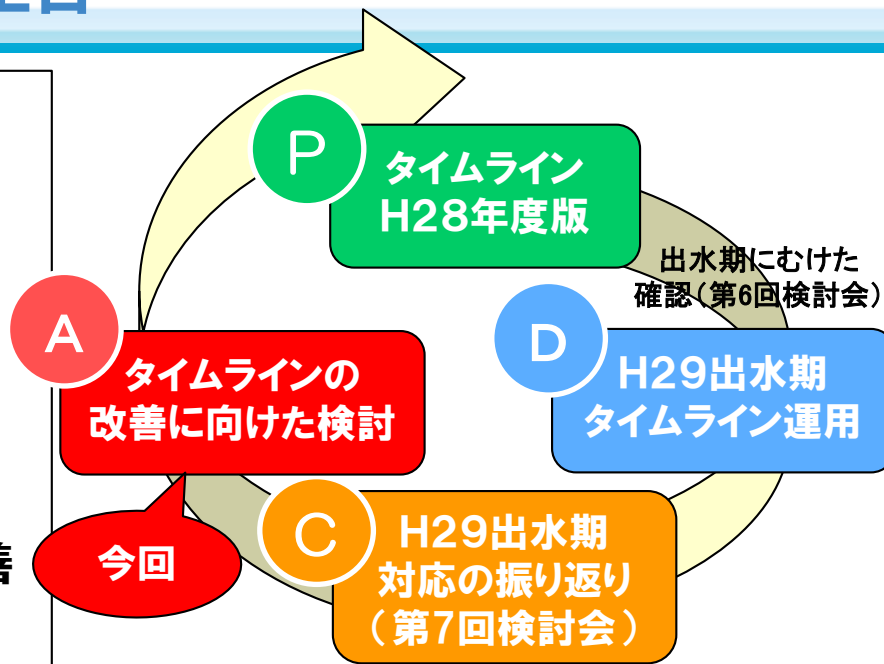
- 本当にタイムラインが効果を発揮するのは、レベル4～7の規模である。
- 本年の経験を活かし、大規模災害時に対応できるようにしてほしい。
- 岡山平野が浸水したのは50年以上前の室戸台風であり、大規模災害の経験が少ないが、大規模災害に備えて、課題が見つければ改善をし続けていく必要がある。

第7回検討会の振り返り様子と本検討会の主旨

以下の5つの設問について、参加機関から発表いただき出水期の振り返りを行った。

- ① 出水期を通してどのような対応を行ったか
- ② タイムラインの活用状況
- ③ 活用したまたは活用しなかった理由
- ④ タイムラインの効果
- ⑤ タイムラインの課題

⇒本検討会では第7回で確認した出水期の振り返り結果をもとに、来年度以降に向けたタイムラインの改善方策について確認を行う



振り返りの様子